

開催報告

好きな時に来て、好きな時に帰れる

「コミセン井戸端会議」

令和5年・6年と二年間にわたり検討してきたコミセン跡地について、リニューアルプランが具体的な形になってきました。このプランをさらに良いものにするために、地域の皆さんのお声を聞く「コミセン井戸端会議」を9月20日(土)に開催しました。当日はこれまでの検討内容や、私たちが考えたリニューアルプランについてパネルや模型をつかってご紹介しました。約80名の方にご参加いただき、たくさんの意見をいただきました。

意見・アンケート結果

斬新で開放的なプランに対し、「ワクワクする」「夢がふくらむ」「予想外に良かった」と期待が寄せられました。特に、既存の建物を活用しながら減築し、外部空間や街に開かれた設計とする点に共感が集まりました。



実現に向けた主な要望と課題

設備・機能

エレベーターやバリアフリー、洋式トイレなど、すべての利用者に配慮した整備の要望がありました。多人数が集まれる会議室や大ホールなどの貸室機能の意見も。

運営・管理

「広い！使いこなせるか!？」という懸念や、「収益性、どのように費用負担するか」といった、持続可能な運営に関するご質問もいただきました。

設計上の配慮

吹き抜けや外部空間の利用について、「暑さへの対策」や「雨の時は使えるのか」といった天候への配慮を求める声がありました。また、自転車置場やパーキングの必要性も指摘されました。

予算・実現

「予算を理由にあきらめすぎないで欲しい」など、プラン実現への意見が寄せられました。

評価されたポイントと期待の声

デザイン

「外に面した空間がとても素敵」、「開放的なつどいの場はいい」、「建物の減築デザインが良かった」など、外に開かれたデザインとアートなまちづくりへの期待の意見がありました。

コンセプト

「池田の方、来られる方のどなたでも welcome」、「みんなが集まって自然体に戻り生き生きとなれる場所になってほしい」など、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの空間となることを望む声が多くありました。

利用対象

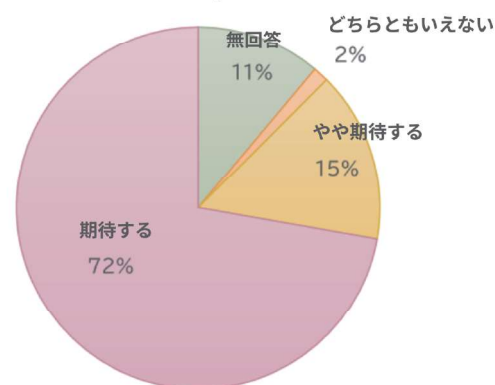
「子供から年配者まで憩える空間になりそう」、「中高生の居場所もつくってほしい」など、全世代の居場所としての機能に大きな期待が寄せられています。

賑わい

「道の駅のように池田の物が買える場所」や「食べ物販売してほしい」、「音楽ライブの場所」など、街の賑わいを生み出す場所としての役割を期待する声が多く聞かれました。



コミセン跡地のリニューアルプランへの期待度



栄本町コミュニティセンター跡地周辺再整備及び利活用基本計画について

この事業は、阪急池田駅周辺の活性化をさらに進めるために、旧栄本町コミュニティセンター跡地を「地域の新しい拠点」として再整備するものです。

令和5年度から住民ワークショップを開催し、当該施設の立地や周辺の状況を踏まえた活用案を検討してきました。また令和6年度には、イベントを通じて、社会実験も実施しました。これらの取り組みで得られたアイデアや知見を活かし、官民が協力しながら再整備計画を策定していきます。



市長も視察しました

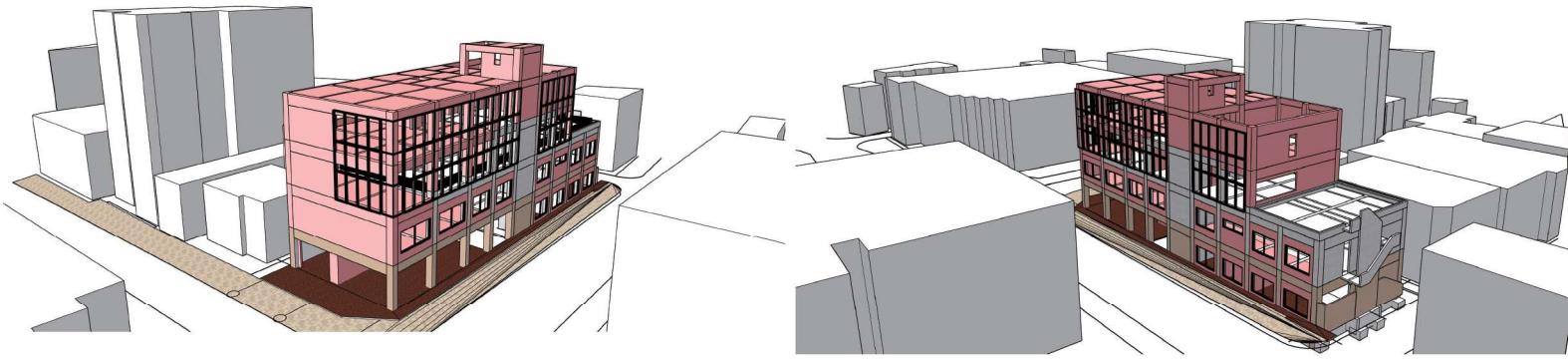
10月15日、瀧澤市長がコミセン跡地を視察しました。井戸端会議

で皆様からお寄せいただいたご意見やアイデアを」ご紹介しました。

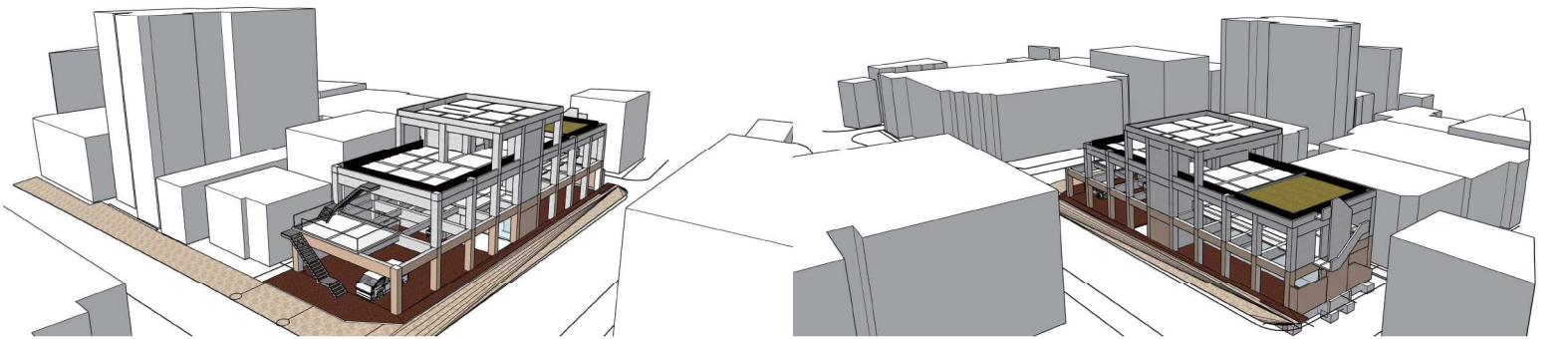


既存ストックを活用した改修・減築イメージ

減築前 赤い部分が解体予定範囲



減築後 4階建てを2階建てへ



鳥瞰イメージ

コミセン跡地： あえて用途を絞らない全天候型多目的広場

ポケットパーク： ふらっと立ち寄りやすいまちなか広場

